SightFusion for Desktop Ver.1.1.0 アップデート機能概要

2024 年 8 月
株式会社　ニコン・トリンブル

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
本書では、SightFusion for Desktop Ver.1.1.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

■ チェックイン機能追加

◆ 従来、SightFusion for Desktop は 1 台の PC にインストールしてライセンス認証を行うと、ユーザー様自身が他の PC へライセンスを移動することは出来ませんでしたが、チェックイン機能を使用して頂くことで、ユーザー様の操作で、現在使用しているライセンスを他の PC へ移動することが出来る様になります。
ライセンスを付与している PC からライセンスを返却（チェックイン）後、他の PC でライセンスを取得（チェックアウト）する手順になります。

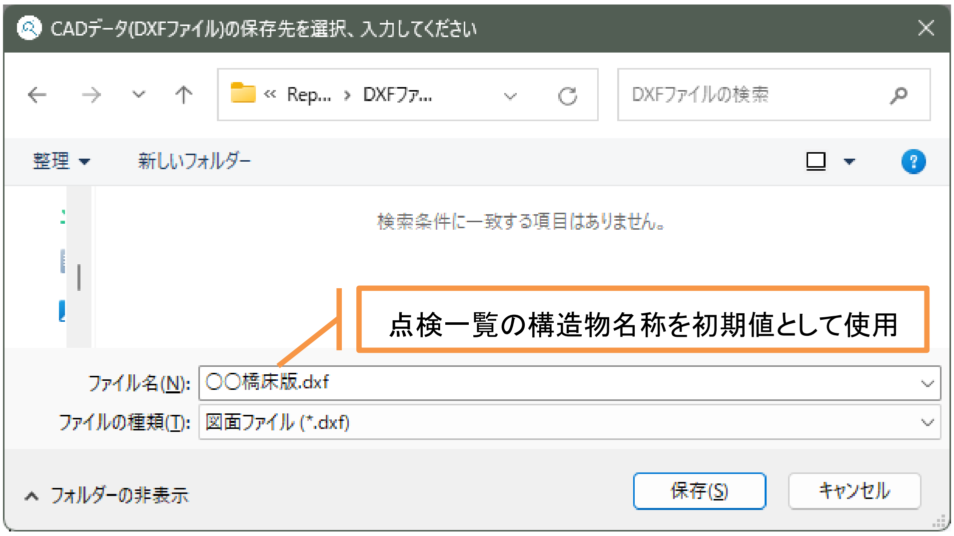
チェックアウトから 7 日が経過すると、ライセンスの割り当てが無い状態となりますが、他の PC へライセンスを移動する際は、移動前の PC でチェックイン操作を行い、明示的にライセンスを返却する必要があります。

■ DXF ファイル出力時の背景画像のフォーマット変更

◆ DXF ファイル出力時、損傷トレースの背景画像としてコンクリート構造物の画像を PNG フォーマットで出力していましたが、CAD アプリケーションによっては、PNG フォーマットの画像の読み込みに対応しておらず異常終了する報告がありました。
そのため、背景画像を JPG フォーマット（固定）で出力する様に変更しました。

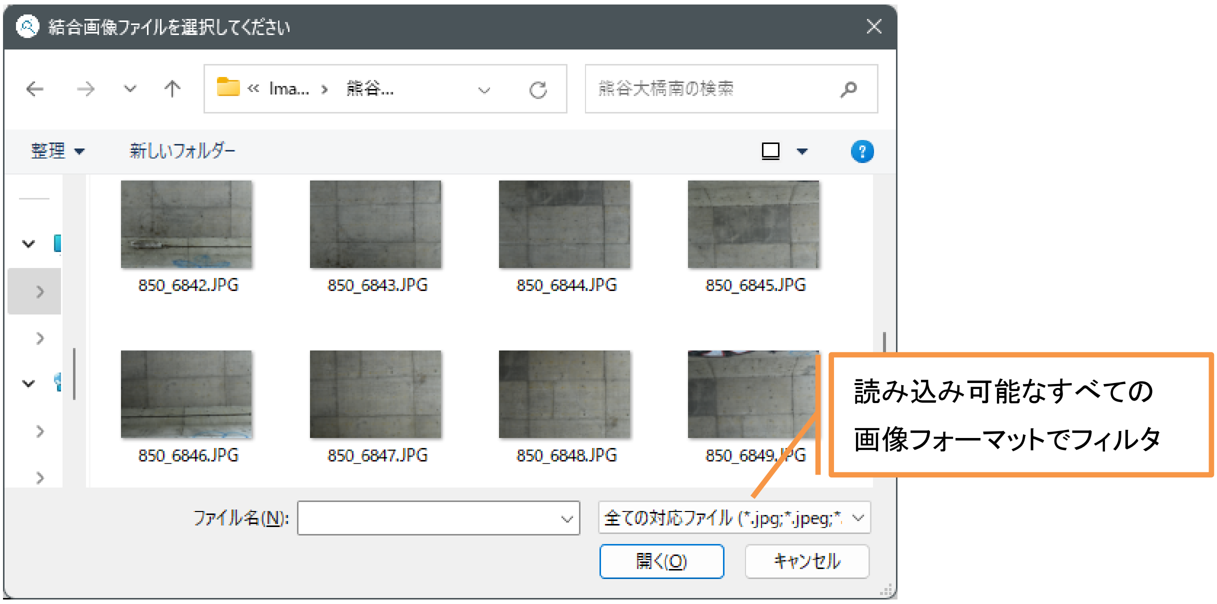
■ DXF ファイル、Excel ファイル出力時のデフォルトのファイル名変更

◆ DXF ファイル、Excel ファイル出力時のファイル名に、構造物名称で記載された文字列を初期名称として使用する様に変更しました。
従来は、DamageCADFile.dxf、DamageList.xlsx が初期名称となっており、多くの場合出力のたびに変更が必要でした。



■ 画像読み込み時のフォーマットフィルタを削除

◆ 画像ファイル(結合済み画像や図面画像ファイルなど)を読み込む際、ファイル選択ダイアログで、JPG フォーマットでファイル選択フィルタがかかっていましたが、読み込み可能なすべてのフォーマットファイルを初期状態で表示する様に変更しました。
従来は、JPG フォーマット以外のファイルを読み込む際に、その都度マスク設定を変更し直す必要が無くなります。



■ アプリケーションが起動しないことがある不具合修正

◆ Microsoft が配布している汎用ライブラリがインストーラにバンドルされておらず、アプリケーションが起動できない事象が発生することがありました。汎用ライブラリであるため、既に他のアプリケーションと一緒にインストールされている場合もあり、その様な場合には起動できない事象は発生しません。
ライブラリがインストールされていない場合、SightFusion for Desktop と一緒にインストールする様にインストーラの修正を行いました。

以上